

# 平成26年度 上越市道徳部 活動報告

部長 中島 憲一

## 1 研究主題

自他のよさを認め、よりよい生き方を求める生徒を育成する道徳教育の推進

### <主題設定の理由>

上越市の「学校教育実践上の重点」にある、「自校の道徳教育の課題を明確にし、命を大切にすることを育て、規範意識を高める指導を行う」を受け、道徳部では、一昨年度より、「自校の道徳的課題を明確にすること、児童・生徒の実態から授業を構成すること」を継続して研究している。そして、研究実践校の清里中学校の実態から、道徳の授業を要とした道徳教育を研究することとし、主題を設定した。

## 2 研究の概要

- (1) 視覚的カリキュラム表の作成
- (2) 地域を愛し、地域の一員としての自覚を高める教育活動の工夫
- (3) 補充・深化・統合を意図した道徳の時間の指導過程の創造
- (4) 教科・総合的な学習の時間・特別活動における取組の工夫
- (5) 教職員の授業力向上を目指した校内研修

## 3 研究の実際

### (1) 具体的な実践経過

- ・ 6月18日（水）専門部会 組織、事業および研究推進の計画、予算等について（ネットワーク）
- ・ 10月10日（金）専門部会 研究の進捗状況、役割分担について（ネットワーク）
- ・ 11月12日（水）公開授業・全体会（清里中学校）

### (2) 公開授業（清里中学校・全学年）

第1学年：真の友情 2-(3) 資料名「俺たち友達だよね」 第2学年：きまりを守る 4-(1) 資料名「二通の手紙」 第3学年：弱さの克服 3-(3) 資料名「二人の弟子」

### (3) 公開授業後の全体会 「トークタイム～心が育つ学校づくり～」

妙高市教育委員会 子ども教育課 参事・指導主事 川上 晃 様

鳴門教育大学大学院 教授 村川 雅弘 様

## 4 成果と課題

今年度も昨年度に引き続き、清里中学校の協力を得て、3つの授業を題材に研修を行うことができた。

道徳部員は、清里中学校の実践を通じて、視覚的カリキュラムを用いたカリキュラムマネジメントの有用性を再確認することができた。また、体験的活動と関連をもたせながら授業を構想することの重要性についても認識することができた。

課題としては、昨年と同じになるが、それぞれの学校の実態の違いによって、容易にこの研究成果を自校化できないという問題が考えられる。しかし、視覚的カリキュラムは上越市内の学校が共通して取り組んでいることであり、そこに道徳的な視点を入れる清里中学校の実践は大変参考になった。

